

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	面会時などに意見を聞き反映する取り組みは行っているが、家族同士での意見交換や家族会の開催までは行えていない。	家族会の開催や家族同士での意見交換の機会を設けていく。	行事との連動で家族会をおこなったり、少人数でも一度開催を試みている。家族会の開催が難しい場合は、日頃の面会時より家族とホームの関わりをより深く持っていただけるよう協力を促していきたい。	6ヶ月
2	33	現状では必要性のある利用者はいないが、重度化や終末期への環境づくり、また職員へ終末期への取り組みの重要性が周知していくことが必要。	今後利用者の重度化・終末期を少しでも受け入れることができる環境を整えていく。	医療連携機関との連携によりどこまでなら対応ができるのかなどを明確にしていく。職員等にはカンファレンスとうでの必要性の説明を定期的に行うことで認識を深め、研修などで知識を深めて行く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。